

令和8年度 寺井中学校 学校経営ビジョン

1. 学校教育目標

「自ら学びを拓き、多様な他者と、新たな価値を創造する生徒の育成」

【具体の姿の例】

① 地域の課題を「自分事」として解決する姿（探究・地域共創）

総合的な学習の時間等で、能美市の伝統工芸（九谷焼）や資源を中学生独自の視点で捉え直し、デジタルコンテンツや新商品を考案・提案するなど、地域社会へ積極的に参画する姿。

② 生成 AI を「思考のパートナー」として活用し、独自の問いを立てる姿（知・情報活用）

AI の回答を批判的に検討し、「この案には何が欠けているか？」と自ら問いを立てることで、AI との対話を通じて自分だけの「独自の仮説」や「新しい表現」に到達する姿。

③ 多様な個性を生かし、誰もが過ごしやすい学校環境を創る姿（和・包摂）

生徒会活動等で「不登校傾向の生徒や運動が苦手な生徒も共に楽しめる形式」や「誰もが意見を言えるデジタルの対話の仕組み」を自ら提案構築するなど、包摂的な場を創造する姿。

2. めざす生徒像（和・汗・創造）

【知：和して学ばん】

- 自らの学びを自律的に調整し、ICT を文房具として活用しながら、他者との対話を通じて学びを深めていく生徒。
- キーワード：自己調整学習、情報活用能力の抜本的向上、生成 AI の責任ある活用。

【徳：汗して生きん】

- 多様性を認め合い（包摂）、他者と助け合い、持続可能な社会に貢献しようとする生徒。
- キーワード：感謝と思いやりの心、多様性の包摂、地域共創・ボランティア。

【体：創造の力みがかん】

- 心身の健康を自己管理し、困難な状況においても「新たな価値」を創造することで解決を図ろうとする生徒。
- キーワード：たくましい心と体、メディアバランス、ウェルビーイング

3. めざす教師像

- ①柔軟に学び続ける
 - ・変化を前向きに受け止め、学び続ける教師
 - ・他者から学ぶ、素直さと謙虚さを持ち、専門性を磨く教師
- ②生徒のよき伴走者
 - ・生徒を認め、励まし、成長をともに喜ぶ温かいまなざしの伴走者
 - ・生徒の成長を支えるこの職に、誇りとやりがいを感じる教師
- ③和顔愛語
 - ・生徒にも同僚にも、和やかな表情と、思いやりのある言葉

4.学校経営の基本方針

① 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

- **学びの質的転換**

教師は「知識の伝達者」から、生徒の学びを支援する「伴走者」へ。指導性とのバランス。

- **自己調整能力の育成**

「何を・どう学ぶか」を生徒自身が選択し、評価を自己改善に生かすプロセスを重視する。

② デジタルとアナログを融合した「ハイブリッドな学び」

- **デジタル学習基盤の確立**

1人1台端末を日常使いし、クラウド活用による協働学習を深化させる。

- **生成AIの戦略的活用**

AIを「思考を深めるパートナー」として活用し、人間ならではの問いを立てる力を養う。

- **リアルな体験の重視**

デジタルで効率化した時間を、実験・実習などの体験的な学びや、探究・議論など学びを深める対話の充実につなげる。

③ 質の高い探究的な学びの推進（地域共創）

- **ふるさと能美への誇り**

地域の人的・物的資源を活用した「探究学習」を核に、社会のリアルな課題に向かう。

- **価値創造の経験**

伝統文化や防災など、地域課題の解決に向けて自らアクションを起こす力を育む。

④ 組織的な学校運営とウェルビーイング

- **校務DXの加速**

業務の3分類（学校が担うべき業務の適正化）に沿って改善を徹底し、「子供と向き合う時間」と「教師のウェルビーイング」を確保する。

- **同僚性の構築**

日頃の対話を大切にし、教職員がつながり合うことで心理的安全性が担保されたチームへと同僚性を高めていく。